

平成29年度 倫敦日本人学校だより第3号 6月1日

学校創立記念日～先達に感謝を～

子どもたちの「心のふるさと」に



校長

グリーンゲート横に、まだまだ小さな紅梅が、しっかりと根を這わせ育っています。

昨年度、本校は創立40周年という大きな節目の年を迎え、11月に全校児童生徒・教職員でそのお祝いをしました。この紅梅は、その時に記念して植樹した木です。これから先もずっと、ロンドン日本人学校の子どもの成長を見守り続けてくれることを願っています。

さて、ここで少しロンドン日本人学校の歴史を振り返ってみたいと思います。

今から52年前の昭和40年(1965年)9月に、本校の前身である日本クラブ主催の「日本語会」が発足し、20名の子どもたちと4名の講師で日本語学習が始まりました。その後、年々児童生徒が増加し、先人の英知と努力によって、昭和51年(1976年)6月18日に英国の私立学校として認可された日本人学校が設立されました。そして、その日を本校の創立記念日と決めました。

創立当時は、校舎がなかったので、アメリカンスクールの講堂で開校式が行われました。授業は、小学部は日本クラブ、中学部は大使館広報センターで行われました。翌年2月には在外教育施設として文部省(当時)の指定を受け、4月にカムデン校舎に移転しました。そして児童生徒数が600名を越えた昭和62年(1987年)には、3番目の校舎となる現在のアクトン校舎へと移転しました。

平成3年には、児童生徒数が964名まで増えました。これまでの卒業生の延べ人数は、小学部で3、168名、中学部



で1,779名を数え、数多くの優れた人材を輩出してきています。

本校では、長い歴史と伝統を生かしつつ、子どもたちに英国ならではの体験と本校の特色を生かした学びを合わせ、「豊かな心」と「国際性の基礎」を培う教育を行います。

また、子どもたちが互いを思いやり、学びあいながら、毎日楽しく安心して学校生活を送れるよう児童生徒一人ひとりにかかわり寄り添う指導に努めてまいります。

育ったところ 必ずしも家庭ではない
心を育てられたところが 家庭である
学んだところ 必ずしも母校ではない
よき師よき友にめぐり会えたところが 学校である

生まれたところ 必ずしも故郷ではない
心をとどめたところが 故郷である

この詩の作者は不明ですが、人間が最後に行き着くところは、真に心を育ててくれたところだと教えています。家庭と学校の連携が叫ばれて久しくなります。身近な大人が、それぞれの立場で子育ての責任を相応に分担し、優しくも厳しく愛情をそそぐことで、子どもの心に、家庭や学校もよき「ふるさと」として宿ることになるでしょう。

子どもたちに、よき「ふるさと」を提供するのは大人の責務です。家族や仲間、故郷を愛し、ロンドン日本人学校で学んだことを誇りに思いながら、日本そして世界各地で活躍する子どもたちに成長することを願い、これからも、学校と家庭が心をひとつに連携を深めていきたいと思っています。

ロンドン日本人学校校歌

- 1 青い高い大空 テムズ河畔の
ビッグベン ビッグベン
心豊かに 健やかに 自ら学べと 鳴り渡る
- 2 薫る伸びる緑の リージェントパークに
弾む声 育つ友愛 さわやかに
実りの明日 目指しつ
- 3 清く強く明るく 我らの誇り 学舎の
チャペルの集い 和やかに 英知の光
いつまでも
- 4 歴史語るロンドンの 赤いレンガの 学舎に
はずむ語らい 光る汗 希望の翼 たくましく
- 5 木もれ日 やさしい 菩提樹に バラの香りの
風わたる イーリングの道 踏みしめて
世界を結ぶ かけ橋に

★英会話担当教員の異動についてのお知らせ

Natasha Walker 先生が退職され、英会話クラスは、Michael Salter 先生が担当しますのでお知らせいたします。

楽しかった水泳学習

ロンドンがまだまだ寒かった5月、4年生の水泳学習がBrentford Fountain Leisure Centreで実施されました。気温は低かったのですが、子どもたちはとても楽しみにしていました。

プールでは、はじめに水慣れの活動を全体でしました。水をかけあったり、水中じゃんけんをしたりする楽しそうな声がプールに響きました。その後、泳力別に3つのグループに分かれて、クロールや平泳ぎの泳法を学びました。どのグループも泳ぎの基本であるけ伸びの基本姿勢を確認してから泳ぐ練習をしました。初級グループは、バタ足やクロールをしてもけ伸びの姿勢が崩れないよう、ビート板を使ったり、2人組で手をもったりしながら泳ぐ練習をしました。水深が浅く、どこに行っても足がつくので子どもたちは安心して泳ぐことができました。中級グループは、息継ぎの練習をメインに行いました。息継ぎがうまくできると泳ぐ距離がのびます。25m泳げるようになって上級グループにあがることを目標に、意欲的に取り組むことができました。上級グループは、とにかくたくさん泳ぎました。最終日にはリレーを行い、大変盛り上がりました。学習後の振り返りからは、「泳げる距離がのびた。」「息継ぎがうまくできるようになった。」など、子どもたち自身が自分の成長を感じられたことが伝わってきました。水に慣れ親しみ、たくさん泳ぐことができた水泳学習となりました。



発見いっぱい 町たんけん

小学部3年生は、5月18日（木）に社会科の学習として「町たんけん」を行いました。いつも歩いている通学路でしたが、視点を改めて観察すること



で色々な発見があったようです。見つけたものを白地図に書き込むと、「ハンブがたくさんありました。」「目の不自由な人が安全に渡れるように、交差点には点字ブロックがあります。」など、

物と場所との関係や、見つけた物の役割を考えることもできました。駅や駅周辺の店ではインタビューをしました。「1日に何人位の人が利用しますか。」「一番忙しい時期はいつですか。」など、グループで考えた質問を、日本語や英語でしっかりとすることができました。はじめは緊張していた子どもたちでしたが、駅員や店の人とコミュニケーションを深めていくことで緊張もほぐれ、笑顔で接することができました。

たくさん歩き、たくさん発見し、子どもたちは達成感に溢れた表情で帰ってきました。今後は、グループごとに絵地図を作成します。最後までグループで協力し合い、自分たちの発見がいっぱいつまったオリジナルの絵地図を完成させてほしいと思います。

魅力発見 町たんけん

小学部2年生は生活科の学習として、5月25日（木）に「町たんけん」を行いました。好天に恵まれ、青空の下で実施することができました。

今回探検したのは、学校周辺、ウエストアクトン駅、ノエル公園の3か所です。子どもたちは、3、4人ずつのグループで、それぞれがリーダー、安全係、時計係、地図係となって活動しました。ヘルプの保護者の方にアドバイスをいただきながら、グループで助け合って取り組むことができました。活動を終え、笑顔で学校に戻ってきた子どもたちからは、「学校の周りには、バラやパンジーなどいろいろな花が咲いていて、とってもきれいだったよ。」「駅員さんに、ウエストアクトン駅は1923年にできたと教えてもらったよ。」「ノエル公園には遊具があって、みんなでたくさん遊んだよ。」などの感想が聞かれ、充実した「町たんけん」だったことが伝わってきました。歩いた場所は、普段、通学路として利用している児童も多く見慣れた場所でしたが、よく観察することでいろいろな発見があったようです。



今後、学習のまとめとして、ウエストアクトンの町の地図作りに取り組みます。町の魅力がたくさんつまんだ地図ができあがることでしょう。